

TV マウンテン・スクール (TVMS)



TV マウンテン・スクール (TVMS)

- ・日光を拠点に活動
- ・アーティスト主導の活動体
- ・ワークショップとサイトスペシフィックな
展覧会を継続的に実施



活動の考え方

- ・学校ではなく、教える立場、教わる立場を固定しない。
- ・行為と経験を通して学びを生む



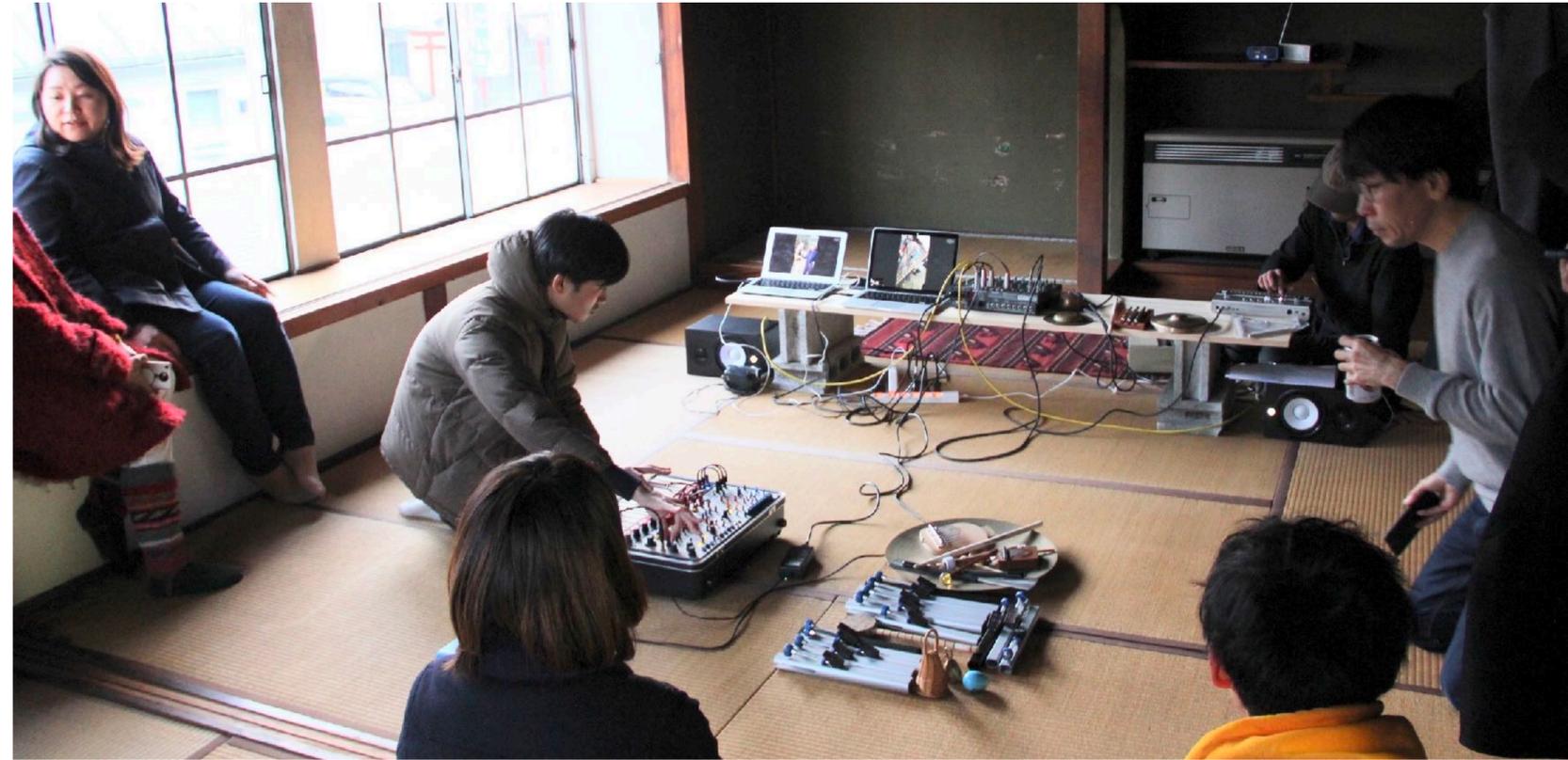
なぜ日光か

- ・世界的な観光地
- ・生活や歴史が見えにくく、見過ごされてきた場所がある
- ・観光と地域の関係に歪みがある
- ・古い建物や歴史的な風情が、高級観光向けに取り壊されつつある



これまでの実績

- ・ 2025年から活動を開始
- ・ 展覧会・音楽イベント・ワークショップを実施
- ・ 観客が参加者へと変化すつプロセス
- ・ 専門家や地域の知識との交流



てつおのガラージ

- ・ 展覧会とワークショップ
- ・ 観客が徐々に参加者へ
- ・ 路面に開かれ、活動がパブリックに共有





2025年 展覧会「ずれた」

- ・ 展覧会は元質屋で行われた（米国で見つかった資料に基づき命名）
- ・ 街の中心部に位置する明治時代の歴史的建物
- ・ 併設の江戸時代の建物は小さなカフェとして運営され、観光客が活動に出会う場として活用可能

2026年プロジェクト「8月の光」

- ・約10年間の活動の延長、中間点としての位置付け
- ・てつおのガラージやPawnbroker's Museumでの経験を踏まえ、日光や観光の課題に向き合う
- ・地域住民や来訪者との関わりを通じて参加者の主体性を育む
- ・Pawnbroker's Museumを中心に、グループ展を開催
- ・てつおのガラージや街中の場所をサテライト会場として活用
- ・展示とワークショップを並行して実施し、街の様々な場所で関係性を体験



展覧会期間中に複数回実施

- ・アーティストと地元住民が共同で新たな観光スポットを定義
- ・忘れ去られた場所、見逃されてきたもの、無名の存在に目を向ける
- ・現代美術の視点で再定義し、オルタナティブガイドブックとして提示



目指す変化

- ・ 住民と来訪者の新しい関係
- ・ 地域の価値の再認識
- ・ 長期的な主体性と保存意識

